

## 福島第一原子力発電所3号機原子炉建屋 使用済燃料プール内への鉄骨滑落事象

### ■事象内容

9月22日に予定していた③瓦礫の撤去準備作業として、連続している鉄骨トラスの切断作業を実施していた。(鉄骨トラス①-2と鉄骨トラス③の間の切断作業)  
その際、使用済燃料プール脇にある別の鉄骨トラス②(梁材と推定:約300mm×約200mm 長さ約7m 重量約470kg)が不安定な状態となっていることを確認した。  
作業を一旦中断し、東京電力と工事請負者の協議の上、瓦礫鉄骨は不安定な状態にあるため速やかに油圧フォークで掴み取ろうとした時、鉄骨トラス②が使用済燃料プール内に滑り落ちた。

### ■事象発生の経緯時系列

- 9月22日(土)
- 8:30 工事請負者(以下、JV)が作業前朝礼およびTBM-KYにて、当日の作業内容を確認
  - 8:40 東京電力およびJVが、当日の作業内容を確認
  - 9:38 遠隔操作重機による瓦礫撤去作業開始
  - 10:00 撤去場所(鉄骨①)付近の雰囲気線量をリモート線量計にて測定
  - 10:01 鉄骨トラス①-1の撤去開始。  
}
  - 10:36 鉄骨トラス①-1の撤去完了
  - 10:36 鉄骨トラス①-2撤去作業開始  
}
  - 11:05 鉄骨トラス③との取合い部を吊下げカッターで切断を試みたが、切断できず鉄骨トラス①-2の撤去作業を中断
  - 11:05 鉄骨トラス②が作業開始時点の位置に対して動いている(不安定な状態で半水没している)ことに気づき、東京電力とJVで協議し、油圧フォークで撤去作業を行うことを決定
  - 11:07 鉄骨トラス②を油圧フォークで掴みに行ったところ、油圧フォークの先端が鉄骨トラス②に触れた時に鉄骨トラス②が使用済燃料プール水中へ滑落

### ■状況図

